

平成31年度

大学院医学系研究科  
(修士課程)

保健学専攻

学生募集要項

信州大学

## 信州大学大学院受入れの方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心を持ち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

## 信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程） 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 【教育・研究の理念】

医学系研究科保健学専攻（修士課程）は、高い倫理観と豊かな人間性を有し、高度な専門的知識・技術と、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力、国際的な視野を持つ高度専門保健医療職者を育成することを基本理念とします。

精神的・身体的・社会的な側面から人間を全人的な存在としてとらえ、保健・医療・福祉に関する教育・研究の成果を社会に還元することにより、健康保持と疾病や障害の予防・治療、医療安全に広く貢献し、人類の幸福と福祉の向上に寄与する保健学を構築します。

### 【教育・研究上の目標】

- （1）高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を備えた人材を育成します。
- （2）保健・医療・福祉の現場において研究を推進できる人材を育成します。
- （3）国際的な共同研究や活動に参画できる人材を育成します。
- （4）保健・医療・福祉の実践現場で働く有職者の研究活動を活性化します。

### 【入学者受入方針】

医学系研究科保健学専攻（修士課程）では、以下のような学生を求めます。

- （1）高い倫理観と豊かな人間性を有し、人類の幸福と福祉の向上に熱意のある人
- （2）科学的思考による問題解決能力を有し、国際的視野で物事を考えることができる人
- （3）高度専門職業人として、地域社会の保健・医療・福祉に貢献する意欲のある人
- （4）保健・医療・福祉の領域において、指導的役割を担う意欲のある人
- （5）将来、保健学における教育者・研究者を志望する基礎学力と熱意のある人

## 1. 専攻・分野・領域及び募集人員

専攻	分野・領域	学域	学位	募集人員
保健学	看護教育学・基礎看護学 成人・老年看護学 母子看護学 地域・国際・精神看護学	看護教育学 基礎看護学 成人看護学 老年看護学 高度実践看護師 (周麻酔期看護師) コース 小児保健・看護学 リプロダクティブ・ヘルス看護学 地域・国際看護学 精神看護学	修士 (看護学)	14人
	検査技術科学	病態血液検査学 生体分子情報検査学 感染制御検査学 組織細胞病態検査学 神経免疫分子科学	修士 (保健学)	
	理学・作業療法学	運動器・スポーツ理学療法学 障害予防理学療法学 運動機能障害学 高次機能障害学 生活支援作業療法学 精神作業療法学	修士 (保健学)	

## 2. 出願資格

保健学専攻（修士課程）には、次のいずれかに該当する方が出願できます。

- (1) 大学（修業年限4年以上）を卒業した方又は平成31年3月までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は平成31年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方又は平成31年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方又は平成31年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成31年3月までに修了見込みの方
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成31年3月までに修了見込みの方
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した方であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、平成31年3月31日までに22歳に達するもの
- (10) 大学に3年以上在学した方又は平成31年3月までに大学に3年以上在学する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了した方又は平成31年3月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した方又は平成31年3月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成31年3月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

### 3. 入学資格審査

『2. 出願資格（8）～（13）』により出願しようとする方は、事前に信州大学医学部大学院係へ問い合わせのうえ、次の手続きを行い、入学資格審査を受け、認定された後に出願してください。

#### (1) 入学資格審査申請書類受付

受付期間 平成30年7月9日（月）～7月13日（金）（郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。）

受付時間 9時～17時

提出先 〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

信州大学医学部大学院係

#### (2) 申請書類（※印は本研究科所定の用紙）

##### ①出願資格（9）に該当する方

※出願資格認定申請書 （様式9）	必要事項を記入してください。
最終学歴に関する証明書	卒業（修了）証明書及び成績証明書 （短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を卒業（修了）した方は、短期大学又は高等専門学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書を併せて提出してください。）
最終学歴の学校に関する資料	入学資格、卒業（修了）要件、修業年限が記載されている資料
学修に関する資料	履修要覧、科目等履修生等の成績証明書
研究業績に関する資料	著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。

##### ②出願資格（8）、（10）～（13）に該当する方

※出願資格認定申請書 （様式9）	必要事項を記入してください。
在学証明書又は在学期間証明書	出身学部（大学院）の長が証明したもの
成績証明書	出身学部（大学院）の長が証明し、厳封されたもの
推薦書	学科主任、指導教授等が作成したもの（様式任意）
学修に関する資料	履修要覧等
研究業績に関する資料	著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。

#### (3) 資格審査

入学資格審査は、提出された申請書類により職歴、研究歴、研究業績等を総合的に勘案

して行います。

(4) 結果通知

審査の結果は、平成30年7月27日（金）に本人あてに通知書を送付します。入学資格を認定された方は、出願手続を行ってください。

#### 4. 出願手続

(1) 出願受付期間

・窓口の場合

平成30年8月6日（月）～10日（金）及び8月16日（木）～22日（水）

受付時間 9時～17時（ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。）

・郵送の場合

簡易書留郵便とし、出願期間内（8月6日（月）～22日（水））に必着とする。

(2) 出願書類等提出先

〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

信州大学医学部大学院係

(3) 出願方法

「(4) 出願書類等」を一括して郵送又は持参してください。なお、郵送の場合は、封筒の表に「大学院保健学専攻（修士）入学願書在中」と朱書きし、必ず簡易書留としてください（出願期間内必着）。出願書類受理後、受験票を本人あてに送付します（8月23日以降に発送）。

(4) 出願書類等（※は本研究科所定の用紙）

※入学志願票（様式1）	必要事項を記入してください。
※履歴書（様式2）	高等学校卒業から現在に至る経歴（国家試験合格を含む。）を年次に従い、もれなく記入してください。
※受験票・写真票（様式3）	写真（出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもの）をそれぞれに貼り付けてください。
※志望理由書（様式4）	本研究科を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
※受験承諾書（様式5）	志望する分野・領域の担当教員が作成したもの
※受験及び修学承諾書（様式6）	入学後も引き続き勤務する所属組織がある場合は、所属の長が作成したもの
※宛名票（様式7）	合格通知書等の送付先を記入してください。
※外国人留学生申請書（様式8）	外国人志願者のみ提出してください。
卒業（見込）証明書	出身学部の長が証明したもの（中途退学者は、退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。） （本学医学部出身者は不要） 出願資格（2）による出願者は、大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与（見込）証明書を提出してください。
成績証明書	出身学部の長が証明し、厳封されたもの （本学医学部出身者は不要）
※入学検定料納付確認書（A票）	① 入学検定料30,000円をこの募集要項に添付する振込依頼書（C票）を使用して、平成30年7月30日（月）から8月22日（水）までの間に金融機関から電信扱いで振り込んでください。振込みに

	<p>は、別途振込手数料が必要です。なお、ゆうちょ銀行からの振込みはできません。</p> <p>また、ATM（現金自動預支払機）、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。</p> <p>② 振込み後、納付確認書（A票）及び領収書（B票）を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、A票を提出してください。</p> <p>また、「取扱金融機関収納印」欄に、平成30年8月22日（出願期間最終日）までの日付の収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込む場合には、金融機関の窓口の受付時間を確認のうえ、振込みを行ってください。</p> <p>③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内までに振込みができなかった方についてのみ、現金による納付を受け付けます。</p>
受験票送付用封筒	<p>長形3号（120mm×235mm）の封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記して82円分の切手を貼ってください。（出願する自身で封筒を用意してください。）</p>
「住民票の写し」又は「パスポート」のコピー	<p>外国人志願者のみ提出してください。現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」（居住している市区町村長が発行するもの）1通を提出してください。</p> <p>それ以外の方は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分）を提出してください。</p>
日本語能力試験又は日本留学試験成績通知書	<p>外国の大学等を卒業（修了）した外国人志願者のみ提出してください。公益財団法人日本国際教育支援協会実施の日本語能力試験（N1）又は独立行政法人日本学生支援機構実施の日本留学試験（日本語）の成績通知書の写しを提出してください。（原本は、受験当日持参のこと。）</p>

## 5. 選抜方法等

入学者の選抜は、筆答試験（外国語（英語））、面接の結果及び出願書類等を総合して行います。

- (1) 筆答試験については、辞書（医学用語辞典を含む。）の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び辞書機能をもつ電子機器類は不可とします。

### 試験日時・場所

期日	時間	試験科目等	試験場
平成30年 9月29日（土）	10：00～11：30	外国語（英語）	信州大学医学部 保健学科 ※詳細は受験票送付時に通知します。
	13：00～	面接	

## 6. 合格発表

平成30年10月4日（木） 10時

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻掲示板に掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書を発送し、公式発表とします。また、信州大学大学院医学系研究科ホームページ

ジに合格者の受験番号を発表しますが、必ず合格通知書又は掲示板で確認願います。

なお、電話やメール等での合否のお問い合わせには応じられません。

## 7. 入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。なお、詳細については合格通知書に同封してお知らせいたします。

### (1) 入学手続期間

平成30年10月9日（火）～10月16日（火）

受付時間 9時～17時（ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。）

### (2) 入学手続場所

信州大学医学部大学院係

### (3) 入学料の納入等

①銀行振込により所定の入学料を納入してください。

②既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料のみ）があります。

### (4) 手続に当たっての注意事項

入学手続締切り期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

## 8. 障害等のある方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に信州大学医学部大学院係へご相談ください。

## 9. 注意事項

(1) 本研究科に入学を希望する方は、あらかじめ志望する研究分野・領域の担当教員と研究内容等について相談のうえ、出願してください。

(2) 受理した出願書類及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。また、提出後の記入事項の変更は認めません。なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入学検定料返還手続）をご覧ください。

([http://www.shinshu-u.ac.jp/ad\\_portal/return/index.html](http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html))

(3) 出願手続後、現住所又は緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに信州大学医学部大学院係に連絡してください。

信州大学大学院医学系研究科

〒390-8621松本市旭3丁目1番1号

電話 (0263) 37-3376 (直通)

信州大学大学院医学系研究科ホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

## 医学系研究科保健学専攻（修士課程） 入学案内

### 1. 標準修業年限 2年 ※

※【長期にわたる教育課程の履修】

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、最長で4年間、その計画的な履修が認められることがあります。

### 2. 履修方法・修了要件

本研究科において2年以上在学し、看護学分野については必修科目12単位、選択科目18単位以上、検査技術科学分野については必修科目14単位、選択科目16単位以上、理学・作業療法学分野については必修科目12単位、選択科目18単位以上、合計30単位以上（高度実践看護師（周麻酔期看護師）コースにあつては、専攻共通科目及び看護学分野の専門科目から、実習10単位、演習4単位、特別の課題研究4単位を含む必修科目38単位、選択科目8単位以上の合計46単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査（高度実践看護師（周麻酔期看護師）コースの場合は、課題研究の成果の審査）及び最終試験に合格しなければなりません。

### 3. 学位授与

看護学分野では修士（看護学）、検査技術科学分野及び理学・作業療法学分野では修士（保健学）の学位が授与されます。

### 4. 高度実践看護師（周麻酔期看護師）コース

保健学専攻（修士課程）では、周麻酔看護に特化した高度実践看護師（周麻酔期看護師）の養成コースを開設しています。

周麻酔期分野で、看護の専門性を高めたいと考えている方の入学を歓迎します。

なお、本コースへの出願は、看護師免許を有し、手術室（準ずる領域の場合は、志望する研究分野の担当教員又は大学院係に相談）で3年以上の看護経験を有することが望ましい。

### 5. 入学料・授業料

入学料 282,000円

授業料 （前期）267,900円 （後期）267,900円

金額は平成30年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

### 6. 奨学金

大学院学生に対する日本学生支援機構の奨学金制度があります。

貸与額は月額50,000円と88,000円（第一種奨学金 平成30年度）から選択できます。

また、この選考は学業成績及び研究能力、家庭の経済的事情等を考慮して行われます。



## 医学系研究科保健学専攻（修士課程） 研究案内

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u.ac.jp」を省略してあります。

専攻	分野	領域	担当教員 メールアドレス	内容
保健学	看護学	看護教育学・ 基礎看護学	松永 保子 ymatsun@	[専門領域] 看護教育学, 基礎看護学 [研究内容] 看護ケアの質の向上のために, 看護基礎教育及び 継続教育における教育方法と評価について探求する。また, クライアントへの教育的支援能力を高めるための教育プログ ラムの開発から評価までの過程に関する研究を行う。
		成人・老年看護学	深澤 佳代子 kafukasa@	[専門領域] 成人看護学 [研究内容] クリティカル・ケア看護のマネジメント, 周手術 期看護, 災害急性期看護, 看護の経済的評価, 患者安全に関 する研究
			池上 俊彦 tikegami@	[専門領域] 外科学, 地域医療 [研究内容] 肝移植を受けた患者におけるQOL改善のため の研究や病診連携・病病連携に関する研究
			會田 信子 aida@	[専門領域] 老年看護学 [研究内容] 1) 高齢者ケア実践・技術に関する研究, 2) 高齢 者ケアに従事するスタッフの心理・社会的課題に関する研究, 3) 老年看護学における教育方法や課題に関する研究, 4) 多 職種連携教育の方法論と評価に関する研究
			伊澤 淳 izawa611@	[専門領域] 循環器内科学: 動脈硬化, 心不全, 高血圧 [研究内容] 心血管疾患の発症予防 (一次予防), 地域の自治 体および医師会との連携による疫学研究: 青少年の生活習慣 病予防, 歯周疾患と全身疾患の関連について
		母子看護学	市川 元基 mtichik@	[専門領域] 小児医学 [研究内容] 小児の発達神経学, 神経免疫学に関する研究を行 っている。
			金井 誠 makotok@	[専門領域] 周産期医学, 地域医療, 臨床遺伝 [研究内容] 妊娠高血圧の病態解明と発症予知に関する研究, 早産回避の治療に関する研究, 地域における産科医療提供体 制維持に関する研究, 出生前診断に関する研究

保健学	看護学	母子看護学	平林 優子 ykehraba@	[専門領域] 小児看護学 [研究内容] 慢性疾患, 医療的ケアが必要な子どもの療養行動発達支援, 障害を持つ子ども, 医療的ケアが必要な子どもの在宅ケアなど
			玉井 眞理子 mtamai@	[専門領域] 臨床心理学, 生命倫理学 [研究内容] 周産期における親子関係構築に対する心理的援助, 遺伝医療における臨床心理学的介入の実際, 出生前診断と中絶をめぐる生命倫理, 重症新生児の選択的治療停止問題と生命倫理, ニューロエシックス, ほか生命科学技術関連の倫理問題全般
		地域・国際・精神看護学	奥野 ひろみ hiromiok@	[専門領域] 地域看護学・国際看護学 [研究内容] 国内外のプライマリ・ヘルス・ケア, ヘルスプロモーション活動に関する研究, 保健師のソーシャル・キャピタルに関する研究, 保健師の力量形成, 研修に関する研究
			下里 誠二 sshimos@	[専門領域] 精神看護学 [研究内容] 精神科における攻撃性とその看護に関する研究, 司法精神看護における評価に関する研究, 精神障害者のリハビリテーションとその看護に関する研究を行っている。
			五十嵐 久人 higaras@	[専門領域] 地域・公衆衛生看護学 [研究内容] 生活習慣の実態把握や生活習慣改善に向けた支援に関する研究, QOLに関する研究, 労働者のメンタルヘルスに関する研究を行っている。
			山崎 浩司 hryamazaki@	[専門領域] 死生学, 医療社会学, 質的研究 [研究内容] 死別体験者に支援的なまちづくりの検討(長野県・中信地方の有志市民との協働), いのちがテーマのマンガを題材にした死生学的考察, 若年配偶者死別の研究にとりくんでいる。また, 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ(M-GTA)を中心に, 質的研究法に関する研究も行なっている。
	検査技術科学	病因・病態検査学	太田 浩良 hohta@	[専門領域] 診断病理学(消化管病理), 組織化学 [研究内容] ヘリコバクター感染により惹起される消化管粘膜病変の病態解析および消化管粘膜への分化を示す腫瘍(胃腸型腫瘍)の組織発生と診断について, 組織化学的方法論を中心に, 分子生物的方法論等も取り入れ研究を行っている。

保健学	検査技術科学	病因・病態検査学	藤本 圭作 keisaku@	[専門領域] 呼吸機能検査学, 睡眠検査学, 呼吸器内科学 [研究内容] 主に気管支喘息, 慢性閉塞性肺疾患などの閉塞性肺疾患及び睡眠呼吸障害の病態を種々の呼吸機能検査機器, 生体モニタ装置, 画像解析, バイオマーカーを駆使して解明すると共に, 企業との共同研究により新しい生体モニタ及び検査機器の開発・検証を行っている。
			奥村 伸生 nobuoku@	[専門領域] 臨床化学, 遺伝子検査学, 免疫検査学, 臨床検査学 [研究内容] 臨床検査値に異常を来たすフィブリノゲン異常症・欠損症において, 機能異常を解明するためにリコンビナントタンパクを作製し, また, 欠損原因を解明するために分子生物学的な方法で研究を行っている。さらに, 医学部附属病院臨床検査部と共同で各種血漿蛋白異常症・欠損症の蛋白検査・遺伝子検査による同定を行っている。
			石田 文宏 fumishi@	[専門領域] 血液学, 血液検査学 [研究内容] 血液腫瘍性疾患, 特に悪性リンパ腫を対象に, 遺伝子異常と臨床病態の関連を明らかにするための研究を行っている。また, 血液細胞形態や血栓止血領域での新規検査法開発を目指した研究を行っている。
			長野 則之 naganon@	[専門領域] 薬剤耐性菌制御学, 感染制御学, 病原微生物学 [研究内容] 新生児や高齢者のB群レンサ球菌侵襲性感染症の第一選択薬であるペニシリンに耐性を獲得したペニシリン低感受性B群レンサ球菌の分子学的解析を行っている。また, 世界的な蔓延が懸念されている薬剤耐性グラム陰性桿菌を中心に薬剤耐性メカニズムの解析や分子疫学的解析および病原性解析などを行っている。
			矢崎 正英 mayazaki@	[専門領域] 神経内科学, 代謝学, 蛋白化学 [研究内容] アミロイドーシスの新規診断法開発。微小生検組織からのアミロイド蛋白の解析法の確立と病態解析への応用。
			日高 宏哉 hiroyan@	[専門領域] 臨床検査医学(臨床化学), 代謝学(脂質代謝異常) [研究内容] 脂質代謝機序の解明およびリポ蛋白・脂質代謝異常症の分析法の開発と病態解析法の研究を行っている。また, リポ蛋白・脂質代謝検査の臨床栄養や健康診断への有用性評価の研究を行っている。
	理学・作業療法学	理学療法学	木村 貞治 tkimura@	[専門領域] スポーツ理学療法, 運動学習, 虚弱高齢者の運動指導 [研究内容] スポーツ選手に対するスポーツ理学療法の介入効果に関する研究や, その背景にある神経生理学的特性の変化についての研究を行っている。運動学習では, 脳の機能的特性に基づいた理学療法の方略についての検討を行っている。虚弱高齢者の運動指導では, 継続的な運動指導の在り方やその効果についての研究を行っている。

保健学	理学・作業療法学	理学療法学	横川 吉晴 fhakuba@	[専門領域] 健康科学, 公衆衛生学, 高齢者に対する理学療法 [研究内容] 高齢者の障害の発生の遅延, 活動能力の保持を目的として, 農村部を対象として縦断的に調査, 介入を行い, その評価の研究を行っている。特に転倒予防プログラム, 筋力向上トレーニング, 認知機能維持向上のための二重課題運動プログラムをテーマに活動している。
		機能障害学	百瀬 公人 kmomose@	[専門領域] 運動学, 呼吸循環の理学療法, 急性期の理学療法 [研究内容] 1) 3次元動作解析装置, 筋電図, 床反力計, 加速度計などを用いた健常者および障害者の動作解析, 2) 呼吸・循環器障害の治療における理学療法とその効果, 3) 中枢神経系疾患における急性期の理学療法のありかた, 4) 理学療法の評価法などに関する研究を行っている。
			寺田 信生 nobuot@	[専門領域] 蛋白複合体からみた生体の構造解析; 解剖学-組織学-細胞生物学 [研究内容] 細胞の接着やシグナル伝達に関わる, 細胞膜内~膜骨格における構成蛋白を同定する。それら蛋白複合体の, 生体機能を反映した局在や蛋白間の相互関係さらに個体レベルでの機能を検討しながら, 人体における役割を明らかにする。そのために形態学・細胞組織化学・生化学・分子細胞生物学の基本的な手技を修得して自由に使えるようにし, さらに顕微鏡によって可視化する解析法の開発も行う。
			杉山 暢宏 nsugi@	[専門領域] 精神医学, 神経内分泌学, 性差医学 [研究内容] うつ病, 躁うつ病の発症メカニズムを, 神経内分泌学的な視点から研究している。特に女性ホルモンの神経系への作用に注目して, 医学部精神医学教室や医学部附属病院精神科と共同で検討している。
			青木 薫 kin29men@	[専門領域] 整形外科学, リハビリテーション医学, 骨軟部腫瘍医学, バイオマテリアル開発 [研究内容] 1) 整形外科・リハビリテーション・骨軟部腫瘍の臨床研究, 2) 骨軟部腫瘍の治療法の開発, 評価, 3) 整形外科領域新規バイオマテリアルの開発, 生体安全性評価などについての研究を行っている。
			作業療法学	小林 正義 mkobaya@
		上村 智子 tkamimu@	[専門領域] 作業療法学, 生活支援科学, 高齢者のリハビリテーション [研究内容] 脳卒中や認知症疾患などの加齢性疾患を有する人のリハビリテーションプログラムの開発と標準化の研究を行っている。研究対象は福祉用具や住宅改修と動作学習を組み合わせたプログラムとプログラムの成果評価の開発である。入院・入所から在宅へのスムーズな移行と在宅生活の継続を促すシステム構築に資する研究を行う。	

保健学	理学・作業療法学	作業療法学	務台 均 hitmutai@	[専門領域] 身体障害作業療法学 [研究内容] 1) 脳卒中や整形疾患に対するリハビリテーションの効果や長期予後に関する研究, 2) 脳卒中に合併する精神症状, 疲労および認知機能障害に関する研究
-----	----------	-------	-------------------	---

この募集要項に関する照会先

信州大学医学部大学院係

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

TEL 0263 (37) 3376 (直通)

FAX 0263 (37) 3080

信州大学大学院医学系研究科ホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

平成31年度  
信州大学大学院 医学系研究科 保健学専攻  
修士課程 入学志願票

		年 月 日	※受験番号
フリガナ			性別
氏名			男 ・ 女
生年月日	年 月 日生		年齢
			歳
志望分野・領域	分野		
	領域		
出 願 資 格	大学	年 月	大学 学部 学科 〔中退・卒業・卒業見込〕
	大学院	年 月	大学大学院 研究科 課程 〔中退・修了・修了見込〕
	その他		
住所	〒		
	携帯電話:		電話:
	E-mail:		
緊急連絡先	〒		
	携帯電話:		電話:

(注意)※印欄は記入しないでください。

# 履 歴 書

年 月 日

※受験番号	氏名	
-------	----	--

高等学校卒業から現在に至る経歴を年次に従い、もれなく記入してください。

	年・月・日	事 項
経	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
歴	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
資	. .	
	. .	
	. .	
賞	. .	
	. .	
罰	. .	
	. .	

(注意)※印欄は記入しないでください。



様式3

平成31年度  
信州大学大学院 医学系研究科 保健学専攻  
修士課程

受験票

※受験番号		性別
フリガナ 氏名		男 ・ 女
生年月日	年 月 日	生
写真貼付欄 最近3か月以内 上半身、無帽、正面 タテ4cm×ヨコ3cm 全面貼付してください。		
志望分野・領域		分野  領域

〔切り離さないでください。〕

〔切り離さないでください。〕

平成31年度  
信州大学大学院 医学系研究科 保健学専攻  
修士課程

写真票

※受験番号		性別
フリガナ 氏名		男 ・ 女
生年月日	年 月 日	生
写真貼付欄 最近3か月以内 上半身、無帽、正面 タテ4cm×ヨコ3cm 全面貼付してください。		
志望分野・領域		分野  領域

(注意)※印欄は記入しないでください。

## 志 望 理 由 書

年 月 日

氏名		※ 受験番号	
大学等の卒業論文 (該当者のみ) あるいは 修士学位論文 (該当者のみ)	題目		
志望分野・領域	分野	領域	
(本分野・領域を志望した理由)			
(入学後の研究について)			

(注意) ※印欄は記入しないでください。

本様式に直接又は本様式に準じて別紙(A4判)に作成してください。

# 受 験 承 諾 書

出身大学等 \_\_\_\_\_

受験者氏名 \_\_\_\_\_ 印

上記の者が、信州大学大学院医学系研究科保健学専攻の平成31年度入学の試験を受験することを承諾します。

年 月 日

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻

分野・領域 \_\_\_\_\_ 分野 \_\_\_\_\_ 領域 \_\_\_\_\_

担当教員 \_\_\_\_\_ 印

## 受 験 及 び 修 学 承 諾 書

受験者氏名 \_\_\_\_\_ 印

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生

職名 \_\_\_\_\_

上記の者が、信州大学大学院医学系研究科保健学専攻の平成31年度入学の試験を受験することを承諾します。

なお、本人が貴大学院医学系研究科に入学した場合は、在職のまま修学することを承諾します。

年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

信州大学大学院医学系研究科長 殿

所属機関 \_\_\_\_\_

所属の長又は  
機関の長 \_\_\_\_\_ 印

所在地 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

# 宛 名 票

合格通知書送付用

入学手続書類等送付用

<p>□□□□□□□□</p>          <p>様</p> <p>※ □□□□□□□□</p>	<p>□□□□□□□□</p>          <p>様</p> <p>※ □□□□□□□□</p>
---	---

(注意)合格通知書及び入学手続書類等の送付先を記入してください。  
「様」を直さないでください。  
※印欄は記入しないでください。

# 信州大学大学院医学系研究科 外国人留学生申請書

(APPLICATION FOR SHINSHU UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE)

《記入上の注意 (Instruction)》

日本語で記載の場合は自筆，楷書を用いてください。

(Application should be typewritten or written in Roman block capitals)

1. 姓名 (Name in full) \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_.  
 姓 (Family name)                      名 (First name)                      (Middle name)
  
2. 性別 (Sex)                       男 (Male)  女 (Female)
  
3. 婚姻状況 (Marital status)  未婚 (Single)  既婚 (Married)
  
4. 国籍 (Nationality) \_\_\_\_\_
  
5. 生年月日 (Date of birth) \_\_\_\_\_年 (Year) \_\_\_\_\_月 (Month) \_\_\_\_\_日 (Day), 年齢 (Age) \_\_\_\_\_歳
  
6. 現職 (Present status) \_\_\_\_\_
  
7. 学歴 (Educational background)
 

年 月～	年 月
年 月～	年 月
年 月～	年 月
年 月～	年 月
年 月～	年 月
年 月～	年 月
年 月～	年 月
  
8. 過去に専攻した分野 (Field of study specialized in the past)
 

---



---



---



---
  
9. 職歴 (Employment record)
 

---



---



---



---



---



---
  
10. 大学院進学のための目的又は研究計画 (Purpose of the application and / or study program)
 

---



---



---



---



---

1 1. 日本語, 英語の能力 (English or Japanese language proficiency)

WHO, 笹川, UST(EPT), TOEFL 等の試験を受けた方は, その成績証明書を添付してください。

(Describe scores evaluated by WHO, SASAGAWA, UST(EPT), TOEFL etc)

---

---

---

---

---

---

1 2. 在学中の学費の証明 (Financial background certification)

---

---

---

---

---

---

1 3. 著書・論文 (Publication list, if any)

---

---

---

---

---

---

申請年月日 (Date of application) \_\_\_\_\_

申請者署名 (Signature) \_\_\_\_\_

指導教員署名 (Signature of supervisor) \_\_\_\_\_

## 出願資格認定申請書

年 月 日

フリガナ			生年月日	年 月 日生	
氏名	印				
住所	〒		電話番号		
志望分野・領域	分野		領域		
学歴	年月		修業年限	事項(高等学校入学から記入してください。)	
	年 月～	年 月	年		
	年 月～	年 月	年		
	年 月～	年 月	年		
	年 月～	年 月	年		
	年 月～	年 月	年		
	年 月～	年 月	年		
職歴	年月		勤務先		
	年 月～	年 月			
	年 月～	年 月			
	年 月～	年 月			
	年 月～	年 月			
	年 月～	年 月			
	年 月～	年 月			
研究歴	年月		研究先		
	年 月～	年 月			
	年 月～	年 月			
研究業績	発表年月	原著及び発表		発表機関	備考
	年 月				
	年 月				

(注意)研究業績欄に書ききれない場合は、別紙を添えてください。



## 研究歴証明書

氏名 \_\_\_\_\_ 印

上記の者が、下記のとおり研究歴を有することを証明します。

## 記

在職した機関 部局及び身分	
研究期間	年 月 ~ 年 月 ( 年 月間)
研究題目及び 研究内容	
指導者の職・氏名	

年 月 日

所在地 \_\_\_\_\_

機関 \_\_\_\_\_

所属の長又は  
機関の長 \_\_\_\_\_ 印

## 研究業績目録

年 月 日

氏名			
学術論文, 研究発表, 著書, 特許等の名称	発行又は発表の 年月	発行所, 発表雑誌等又は 発表学会等の名称	備考 (共著者名等)

(注意) 年代順に記入してください。  
学術論文等を別刷又は写しで添付してください。

# 記入例

- (注意) 1. 太枠内に日付, 住所, 氏名等をハッキリと正確に記入してください。(消える筆記具での記入は不可。)  
 2. ゆうちょ銀行を除く金融機関の窓口から振り込んでください。(ATM, パソコン, 携帯電話等からの振込みは行わないでください。)  
 3. 金額を訂正したもの, 鉛筆書きしたもの, 金融機関の収納印がないものは無効となります。  
 4. 振込み後, 納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り, A票, B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認してください。  
 5. 入学検定料納付確認書(A票)は, 他の出願書類とともに提出してください。

日付, 氏名とフリガナ, 住所を記入してください。  
 大学への提出用となります。

## A票 (大学提出用) 平成〇〇年度 入学検定料納付確認書

依頼日	平成 〇年 〇月 〇日
フリガナ 志願者氏名	シンシュウタロウ 信州太郎
〒 1 2 3 - 4 5 6 7 住所	長野県〇〇市〇〇1-2-3 TEL 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

1. 金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の収納印がない場合は無効となります。  
 2. 金額を訂正したもの, 鉛筆書きは無効となります。

研究科コード	P 4
--------	-----



下記のとおり入学検定料として納付いたしました。

金額	¥ 3,000.00
----	------------

信州大学

(振込み後, 自分で切り離してください。)

## B票 (志願者保管用) 平成〇〇年度 入学検定料領収書

依頼日	平成 〇年 〇月 〇日
志願者氏名	信州太郎
〒 1 2 3 - 4 5 6 7 住所	長野県〇〇市〇〇1-2-3 TEL 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

1. 金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の収納印がない場合は無効となります。  
 2. 金額を訂正したもの, 鉛筆書きは無効となります。

研究科コード	P 4
--------	-----



振込み後, 金融機関の収納印があることを確認してください。

下記のとおり入学検定料として領収いたしました。

金額	¥ 3,000.00	手数料	
----	------------	-----	--

信州大学

(金融機関で切り離してください。)

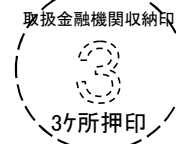
日付, 氏名, 住所を記入してください。  
 領収書ですので, 大切に保管してください。

## 平成〇〇年度 入学検定料 振込依頼書 (取扱店保存)

勘定科目	*
------	---

取扱金融機関へお願い  
 て姓氏研究科コード(2桁)に連続して打電し  
 くと名を打電し  
 だの間の間は1マス空けて打電し

依頼日	平成 〇年 〇月 〇日	振込指定	普通 1 7 5 2 8 1 3	電信扱	金額	¥ 3,000.00
受取人	振込先銀行	みずほ銀行 松本支店	口座名	コクリツダイガクホウジンシンシュウダイガク 国立大学法人信州大学	現金	カタカナで氏名を記入してください。
ご依頼人	研究科コード(2桁)	P 4	志願者氏名(カタカナ)	シンシュウ タロウ	当店券	
	志願者氏名(漢字)	信州太郎	〒 1 2 3 - 4 5 6 7 住所	長野県〇〇市〇〇1-2-3 TEL 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	他店券	



氏名, 住所を記入してください。

## C票

信州大学

**A票** (大学提出用) 平成31年度 入学検定料納付確認書

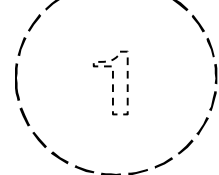
依頼日	平成 年 月 日
フリガナ 志願者氏名	
〒	
住所	
	TEL

1. 金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の収納印がない場合は無効となります。

2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。

研究科コード	
P	4

取扱金融機関収納印



3ヶ所押印

下記のとおり入学検定料として納付いたしました。

金額	千円	円
¥30000	00	00

信州大学

(振込み後、自分で切り離してください。)

**B票** (志願者保管用) 平成31年度 入学検定料領収書

(大切に保管してください)

依頼日	平成 年 月 日
志願者氏名	
〒	
住所	
	TEL

1. 金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の収納印がない場合は無効となります。

2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。

研究科コード	
P	4

取扱金融機関収納印



3ヶ所押印

下記のとおり入学検定料として領収いたしました。

金額	千円	円	手数料	円
¥30000	00	00		

信州大学

銀行

支店

(金融機関で切り離してください。)

**電信扱**

平成31年度  
入学検定料

**振込依頼書** (取扱店保存)

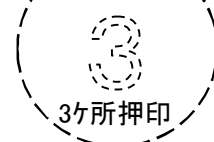
勘定科目	※
------	---

取扱金融機関へ  
お願い

て姓氏研  
くとな科  
だ名を打  
さいのコード  
間はして  
。は1マ(2桁  
スださ空)に  
けてさい。連  
て打た続し  
電し、て

依頼日	平成 年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	円
受取人	振込先銀行	みずほ銀行 松本支店	金額	円	円
	口座名	コクリツダイガクホウジンシンシュウダイガク 国立大学法人信州大学	現金		
	研究科コード(2桁)	志願者氏名(カタカナ)	当店券		
	P 4		他店券		
	志願者氏名(漢字)				
ご依頼人	〒				
	住所				
	TEL				

取扱金融機関収納印



3ヶ所押印

※

**C票**

信州大学